

科 目 名

伝統医薬学概論 Traditional Medicine and Pharmacy

1年 後期 1単位 選択

宮田 健・吉富 誠
周 建融

概 要

世界中が高齢化社会を迎えて医療ケア・ニーズが変容しつつある中で伝統医薬の利用が急増している。本講義では1. 伝統医薬学・東洋医学の特徴（心身一如、医食同源、自然療法などの考え方をもとに、病証を識別し、病状を把握し、治療方法を選び、治療薬を組み立てるという理論体系）、2. 伝統医薬学の治療原則とその応用（生体反応調節物質としての役割を果たす多成分系薬剤としての漢方方剤を用いた治療）などについて学ぶ。

目 的

統合医療の視点から見た伝統医薬学及び東洋医学的に見た病気の起こる原因と治療原理及び漢方薬の薬効の特徴を理解するために必要な基本知識を教授する。

授業計画

	対応するモデルカリキュラム
1. 古代の医療と薬草、医薬文明史	C-7-(1)-2)
2. 東洋医学理論の基礎（弁証の基礎）	C-7-(3)-1)
3. 病態の把握と診療方針	C-7-(3)-1),2)
4. 代表的生薬・漢方薬と作用特性（その1）	C-7-(3)-2),3)
5. 代表的生薬・漢方薬と作用特性（その2）	C-7-(3)-2),3)
6. 漢方薬の現代薬理学的基盤（薬効・安全性の裏付け）	C-7-(3)-3)
7. 代替相補医学の世界の潮流	C-7-(1)-3)

授業方法

講義形式で行うが、特に視聴覚機材を多用する。また、適宜プリントを配付する。

評価方法

定期試験および出席状況等の結果から総合的に評価する。

教 材

参考書：日本東洋医学会学術教育委員会編「入門漢方医学」日本東洋医学会
寺澤捷年著「絵でみる和漢診療学」医学書院
その他：視聴覚教材、プリントを用いる。

履修上の注意

漢方薬の作用を理解するために学ぶ科目です。選択科目ですが、将来、漢方・生薬専門薬剤師の資格を取りたいと思う人は必ず履修することを勧めます。